

長坂の青空

長坂中通信第12号
令和8年3月10日

令和7年度最終号

春に

心と体が劇的に変容を遂げる思春期。その真っ只中を生きる中学生の存在の不安定さは、私にも覚えがあります。達成感や充実感、一体感や幸福感、一方では、焦りや葛藤や矛盾、時には怒りや逃避。様々な感情が入り混じり、自分で自分が理解できないもどかしさを思い出します。

雨の匂いがする渡り廊下 武道場の埃っぽさ 教室のテラスから眺めた川 無人の体育館の静けさ
理科室の机の冷たさ 更衣室の湿気 風をはらんだカーテンの柔らかさ 日光が反射した教科書の白さ
友だちと語った言葉も 交わした笑顔も 遠い過去でも鮮明に思い出せる あの時 あの風景
朝露を纏った新芽が 太陽の光をいっぱい^まに浴びる様子にも似ている
通行者の事情を気にすることなく 音を立てず規則的に色を変える信号のようでもある

達成感にこぶしを握り締めたり あの子の視線を感じて思わずうつむいたり
不安をごまかすために 自分を偽ったり 友だちと比較したり
一体感が心地よかったり 屈託のない自由を無邪気に楽しんだり
孤独感を埋めるために 笑顔をつくらったり 「普通」ということに安心したり

笑顔と涙 希望と絶望 楽観と焦り 甘酸っぱさとほろ苦さ
いろいろあったから そんなあの時だから 一言では説明しきれない
説明しようと言葉を選んでみても ただ胸が熱くなる
今だからわかる あの時は エネルギーだったのだ
心の器に その時々^々のエネルギーを詰め込んで生きてきた 私
少しこそばゆいけど だから 今の私

長坂中で生活しているあなたも、楽しい時間を過ごしている反面、「自分だけが・・・。」と疎外感を感じたり、取り残されていると感じたり、焦りや恥ずかしさ情けなさを噛みしめ、悩んでいるかもしれません。でも、その悩みもあなたにとっては大きなエネルギーの一つなのです。心の器に詰め込まれたエネルギーは、放出されるその時を、今か今かと待っているはず。しかしその放出は勇気が必要とするものかもしれません。

春が訪れます。新しいステージに、新しい環境に突入するその前に「ありたい自分」や「なりたい自分」を再確認し、心の中にある複雑なエネルギーを、力強い希望や未来への原動力に昇華させ、新しい一歩を踏み出してください。



1年間、頑張ったあなた、お疲れ様でした。

別れと新しい出会いを胸に、さあ、令和8年度のスタートへ。

保護者の皆様、1年間、誠にありがとうございました。令和8年度もまた、どうぞよろしく願いいたします。